

中国自動運転考察ミッション 派遣報告

2024年12月3日～7日 上海→蘇州→武漢



一般財団法人日中経済協会

03-5545-3113

www.jc-web.or.jp



日本市場への展開については、現在の技術で即座に対応可能。「左折」時の対向車との間合いもスムーズ。

Pony.aiも華為のMDC(CPU)を買っている。「車をつくりたい他社」を応援。4社とは車の設計段階から入り込み、うち1社はベストセラーに。



無人道路清掃車を上海市で運行中。その技術を乗用車にも適用。レーダーではなく特斯拉同様カメラのみで走行。

たとえ赤字でも、車づくりよりもまず、バッテリー交換ネットワークを構築してユーザーに安心を。全て自己資本で、全国2,700以上の交換ステーションを設置済み。



中国の自動運転業界、一体何がすごいのか？



街自体がスマートシティ。蘇州市が全面協力して実証実験を積み重ねる。24年12月から商用運行サービスも開始。

地図に依存しない自動運転ソリューション。ものづくりは諦め、完成車メーカーとオープンマインドで提携。



人口1,377万人の武漢市では、1/3のエリアでロボタクが往来。App経由での使用実績は延べ700万回^{*}。補助員も同乗せず、遠隔地からモニタリングする商業運行。^{*}22年9月～24年7月末

最先端EV開発と共に、安全性に係わる実証試験が繰り返され、膨大な情報がここ武漢に集約されている。



- ◆ 本ミッションの報告書には、日本の自動運転産業、自動車産業への示唆が詰まっていて、プライスレスな大きな価値を持っていると思う。もう一度ミッションがあれば、また必ず参加したい。
- ◆ 事故発生時の法整備が今後の商用化への大きな障壁である点を深く理解。一方、それが未整備のままの商用化は流石中国と驚き。

- ◆ 各訪問先では、どの企業からも大変透明度が高い説明を受けられ、自動運転分野における今後の研究にも貴重なインスピレーションを得ることができた。
- ◆ 各社厳しい競争下でプラットフォーム化への野心が分かり大変参考になった。一部展示パネルで説明を受けた訪問先に関しては、実車試乗・工場見学もしてみたい。

参加者から生の声

- ◆ 次はもう少し交通量の多い市街地で試乗できると社会実装のリアル、街中でどの程度のレベルで自動運転が実現されているかなどを知れてありがたい。(以前の試乗機会に少々危険なシーンに遭遇したこともあり、安全面との兼ね合いが難しいことも理解する)

謝辞：本ミッション派遣に際して多方面でご支援・ご協力いただいた、在上海日本国総領事館、日本貿易振興機構、日本フェイスキー、上海国際汽車城集团、上海市商務委員会、蘇州市貿促会、蘇州市相城区商務局、中日(蘇州)協同發展創新中心、蘇州富士日本センター、武漢经济技术開發区、湖北日本人会ほか関係各位に記して謝意を表します。